



安原のいま

総人口 4,611人 (前年比-84人) 【男 2,226人 女 2,385人】
安原地区公民館 〒390-0802 松本市旭2-11-13 TEL 0263-39-0701

緊急事態宣言解除！

新型コロナウイルス感染症防止のため政府から発出されていた緊急事態宣言が5月25日に解除され、安原地区の保育園や小学校などが徐々に活動再開し始めました。今回は、地域のさまざまな立場で奮闘する人たちに6月時点の様子取材しました。

旭町小学校・中学校が再開

4月9日から一斉休校、5月14日から分散登校をしていった旭町小・中学校では、6月1日から全員登校が始まりました。机の間隔の確保、マスク着用、換気、手洗い、消毒などに留意しての再開です。分散登校期間中はおとなしく静かな子ども達でしたが、久しぶりに全員揃うと表情も

明らかに、元気いっぱいいの声が増えました。夏休みは短縮が決定、それ以外の行事については6月中に詰めていきます。小学校では、授業日数は



理科の授業で太陽の観察をする児童

桐保育園では

桐保育園(中野八千代園長185人)は、新型コロナウイルス緊急事態宣言中は50人程の自宅待機の園児がいたものの休園することなく、手洗いやうがい、マスクの着用と水分補給、換気を徹底して行



園児向けに作られたコロナについての紙芝居

うよう力を入れ保育をしてきました。また、一時預かりも行っていました。

入園式は入園児とその保護者のみで時短で行い、お誕生会は子どもたちが楽しみにしている行事なので、密を避けるため、三回に分けて行いました。また、プール開きも行いました。今後、運動会も楽しみな行事なので保護者会と相談し、なんとか行いたいとのこと。そんな中、園児にコロナについてのお話を紙芝居で読み聞かせています。園児にも解るようにと知人が

作成、市中すべての園に届けたいいただきました。

今後、新型コロナウイルスに限らず緊急事態に備えて地域との関わりについて伺いました。園長先生は「緊急事態が起こった時の避難場所が近くに無いので心配している」とのことでした。近隣で適する施設等がありましたら保育園か安原地区公民館にお声かけいただけたらと思います。

減ってしまったものの詰め込みはやめて、児童が周りとの関わりながら主体的に学ぶ楽しみを見つけ、自己肯定感を育てるよう支援しています。

中学校では6月を学校開きと捉え、段階的に授業時間と延ばし部活も再開、15日から無理せず正常の学校生活に戻していきます。3年生は年度内にカリキュラムを終え受験に備えなければなりません。現場では、消毒用アルコールの不足も切実です。それで

も、できる予防策を続けることで、無事に学校生活を送れることを願っています。



机の間隔を空けて授業を行う生徒

働く親の頼れる場所 旭学童クラブ

旭学童クラブは、現在旭町小・信大附属小・私立小等44人の児童が在籍しています。3月から5月は朝8時から19時まで、大勢の子どもたちを受け入れました。皆で一体感を味わえる昼食も提供し、子

どもたちはもちろん、保護者にも大変喜ばれたそうです。この期間に支援員が最優先したことは、心のケア。それまでの日常を大きく変えた日々は、子どもたちに大きなストレスを与えました。ほぼ毎日学童に来ていた子どもに大きな変化はなかったものの、久しぶりに来て、なかなか輪に入れないコミュニケーションが取りづら



壁に張り出された「みんなできめたこと」

子どもには、積極的に声を掛けるなど、様子を見守りました。「ここでは心をリセットして、ゆっくりり過ぎて欲しい。ストレス発散の場でありたい」という専任支援員の言葉に、子どもたちの不安な気持ちをしっかりと受け止めて、寄り添う姿勢を感じました。

安原地区公民館

信大キャンパス探検隊 16

コロナ禍の信大 医学部附属病院

新型コロナウイルス対策について、医学部附属病院感染制御室副室長金井信一郎助教に伺いました。

信大病院では人工心肺装置ECMOなどによる集中治療が必要な重症患者を一度に3人受け入れ可能。救急医療センターでも感染者用に2床準備、必要に応じて増床します。遺伝子検査室ではPCR検査を行っています。



入り口に設置されたサーモグラフィ

外来では、サーモグラフィによる検温、受付の衝

立設置、マスク着用その他、患者の分散化を図るため、症状が安定した患者の通院間隔を空けたり、電話とファクスによる薬の院外処方をする等の対策を行っています。病棟でも面会を制限しています。

4・5月は延期可能な検査や手術は延期してきたため、現在も影響が表れており、状況回復には時間がかかるとみられます。医療防護具の不足も深刻です。

今後とも感染が拡大することを前提にしながら対策を継続しています。まずスタッフが感染しないことが大切で、自

立設置、マスク着用その他、患者の分散化を図るため、症状が安定した患者の通院間隔を空けたり、電話とファクスによる薬の院外処方をする等の対策を行っています。病棟でも面会を制限しています。

粛が解除されても医療従事者としての自覚を持って過ごすことが求められています。



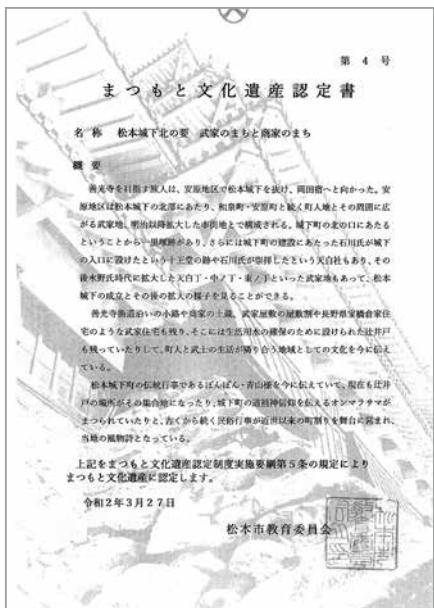
注意喚起のための掲示

いちよう並木

コリウス和名金欄紫蘇(キンランジン) 錦紫蘇(ニシキジソ)を紹介
強烈な葉色が印象的で鉢やプランターを飾るシソ科コリウス属の植物です。
和名が示すように、カラフルな葉の色・葉の形を楽しむ植物。鉢・プランターのほか、花壇にも使われる用途の広い観賞用植物です。

生命である葉色を保つため室内で育てる場合は適当に直射日光に当て、同化作用を良くする。葉に付いたほこりを丁寧につき取ることを。

外で育てる場合は長時間の直射日光を避け遮光を行う。用土が乾きすぎないように十分ご注意ください。
たちかげしょう
立枯病を防ぐため、用いる用土の消毒(焼くか太陽にさらす)をお奨めします。



まつもと文化遺産認定書

安原地区が「まつもと文化遺産」に選ばれました

安原地区にある武家と商家の町並みなどの文化財群が、市内島内の平瀬城跡や「塩の道」(千国街道)などの文化財群とともに地域の文化財保護や活用を目的とする「まつもと文化遺産」に認定されました。

「まつもと文化遺産制度」は2018年度に創設された制度で、今回で計4件の認定となりました。今後は地域の文化財群の保存や活用に対して市から補助金が交付されます。

市教委文化財課は「地元」の歴史や文化を生かした地域づくりを進めるのにこの制度を役立てて欲しい」と話しています。



葉や色彩に富むコリウス